

初

四年 画数 7
 筆順、ネネ初
 オン シヨ
 フン はじりめりめて・はつ
 うい・そりめる



「着物」の形を表した「ネ」と、「刀」とを組み合わせて作った字です。

着物を作る時に、一番「はじめ」にすることは、布を「断つ」ことです。それで、「断つ」ことを表す「刀」と「衣」とで、「はじめ」という意味を表したものです。

「物事の「はじめ」という意味に使われます。【例】初期、初心。

「はじめ」のことを、古いことばでは「はつ」、または「うい」と言います。【例】初雪、初夢、初孫、初陣。また、「はじめる」ことを、古いことばで「そめる」と言います。【例】書き初め、出初め式。

使い方

▼わたしは、初孫だというので、おじいちゃん、おばあちゃんに、ずいぶんかわいがられました。初めての孫のことを初孫というのだそうです。

▼書き初めをしに、お習字の先生の所へ行ったら、空からちらちらと白いものが降って来ました。初雪でした。

熟語例

- ▼初期（初めの時期。「これは初期のまだ未熟なころの作品です」などというふうな、つかいいます。）
- ▼初心（初めのころの心。「初心忘るべからず」などというふうな、つかいいます。また、習い始めたばかりで、未熟なこと。「初心者」など）
- ▼初雪（その冬、初めて降る雪。）
- ▼初夢（正月元日または二日の夜に見る夢）
- ▼初孫（初めの子孫。「はつまゝ」とも言います。）
- ▼初陣（初めの戦い。「初陣に大手柄をたてた」などというふうな、つかいいます。）
- ▼書き初め（新年に初めて字を書く行事）
- ▼出初め式（新年に初めて消防士が出そろって行う儀式）

松

四年 画数 8
 筆順、オ松松
 オン シヨウ
 フン まつ



「頌」（ほめたたえること）という意味の「公」と、「木」とを組み合わせて作った字です。

たいていの木は、冬になると葉が枯れて落ちてしまいますが、松の木は、寒い冬でも青々とした葉をつけています。それで、昔から「めでたい木」として「ほめたたえ」られて来ました。「頌の木」ということで「松」という字になりました。

使い方

▼松竹梅というのは、とてもおめでたい植物ですから、いろいろなところに使われます。お酒の名前にも「松竹梅」というのがありますし、食べ物の上中下を表すのに、松竹梅を使うことがあります。これは、松と竹と梅は、冬の寒さにも負けず、雪にも良く耐える強い植物だからです。

▼松の内が過ぎると、お正月気分も抜けて行きます。門松を燃して、また今年一年、良い年でありますようにと祈ります。学校が始まって、また勉強です。光陰矢のごとし。一瞬一瞬を大事にして、頑張ります。

熟語例

- ▼松の内（正月元旦から七日までを言います。門松を飾っておく期間です。）
- ▼門松（縁起をかついで、新年に門の前に飾る松。今では門松もあまり見られなくなりました。そのかわり車に飾る人もいます。）
- ▼市松模様（白と黒を互い違いに並べた模様。むかし歌舞伎役者に佐野川市松という人がいて、その人がこういう模様の袴をはいていたからということです。）